

「おはようございます。」「投票お願いします。」—生徒会の選挙運動が始まりました。(9月5日 朝)

来週水曜日に、好間中の後期生徒会役員を決める演説会と投票が行われます。

ここ数年、立候補者の数が限られ、信任投票が多い傾向にありました。しかし今回は会長や副会長などに定数以上の立候補者があり、「選択投票」となります。

立候補者が決まり選挙活動が始まりました。昇降口には立候補者の大きな顔写真入りの選挙ポスターが貼り出され、朝、外に立ち登校する生徒に投票を呼びかけています。きらきらした眼の生徒達。あいさつが校舎に響いています。

数年前、国民の選挙年齢が18歳に引き下げられました。早い人では高校3年生から選挙権を持つことができるようになりました。

前回行われたいわき市長選では、投票率が50%を切りました。投票場に行かない(行けない)様々な理由はあるのですが、改めて有権者の意識が問われています。

今後、生徒会役員に立候補した人の演説が放送を通して行われ、生徒は支持する人を決めていきます。生徒会選挙では毎回無効票はほとんど出ません。頼もしい中学生です。

将来の有権者は君たち

学力を高める発表や話し合い

「発表する人が少ない…」先日、2年生の授業を担当する教師からこのような話が出ていました。授業にはまじめに取り組む、ある程度理解はできているそうです。でも発表や発言が限られた人だけになってしまうとのこと。もちろん授業を行う教師側の力を高めることが第一ですが、生徒の皆さんにも考えてほしいことがあります。

右図は、県の教育機関が児童生徒の発言力を高めるために考えた資料の一部分です。

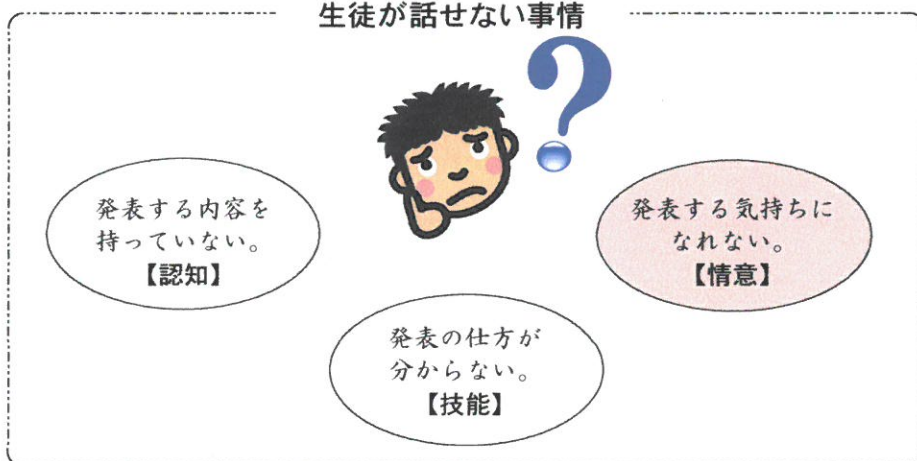
本校2年生の場合、認知や技能面よりは情意面に課題があるように思えます。「めんどくさいな」「はずかしい」「目立つのはやだな」…。それぞれの生徒によって事情は違うでしょうが、そんな雰囲気がクラスを覆うと、活発な授業になっていきません。

人が集う学校(学級)で学ぶ意義はたくさんあります。友だちの取り組みや発言を聞いて、「私と同じ考えだ。」「へえ、そんな考え方もあるんだ。」「いや、ぼくはそうは思わない。」など、自分の学びを補強し、更に高い内容に引き上げたり、やる気を高めたりできます。

皆さんが仕事に就く頃には、知識や理解をベースに、いかに自分の考えを持ち、共に働く人達と意見を出し合いながら、新しい価値をもつ仕事を創造していけるかが大切だとされています。

「アクティブ・ラーニング」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。来年度からは教科書が変わり、友だちや仲間との話し合いや発表が重視された学び方が多用されていきます。教師から教えられたことを覚え、テストに再現し、良い点をとる。— そんな授業風景が今変わりつつあります。

生徒が話せない事情



県教育センター編『授業を変える』より

来週の予定

月日	曜	時 間 割	主 な 行 事
9/6	日		○新人陸上大会
7	月		全基礎学力コンテスト(社会)
8	火		
9	水	総合・選学	短縮 全生徒会選挙⑥ SQ (部活なし)
10	木		★中間テスト(9/24)出題範囲配付
11	金	学活	●学級役員・各係決め
12	土		

①1学年 ②2学年 ③3学年 全全学年 丸付き数字は時間割

★ 各競技別に新人大会が始まっています。

★ 各教科の基礎学力を上げるためのミニテストです。前週に練習問題に取り組み本番に備えます。

★ 2週間後に中間テストが行われます。範囲表が配られテスト計画を立てます。

【学年目標】 ■自ら判断し行動できる生徒 ■自ら学びに取り組む生徒

■お互いの良さを認め、思いやる気持ちを持てる生徒

いわき市立好間中学校 郵便番号 970-1143 福島県いわき市好間町小谷作字竹ノ内1-1

電話番号 0246(36)2204 FAX 0246(36)2338